

さいたまここに人あり



奥秩父に住む 元衆議院議員

田中 美智子 さん

人間は楽しく生きていかなくちや

そのために世の中をかえる

ブログ「自然と猫と私」が静かなブームになっています。発信は田中美智子さん88才。1972年から5期15年、衆議院議員をつとめ、アスベスト問題・高額療養費制度の是正をはじめ女性労働者「30才定年制」や男女の賃金格差問題を国会ではじめてとりあげたことでも知られた方です。

議員引退後は自然豊かな奥秩父に住み、季節の移り変わり、同居する老猫・来太郎との「会話」、ご近所の人々との交流、そして今の時代状況を84才からはじめたブログに記しています。大腸ガンで余命数ヶ月と宣告されながらも手術で完治。

風雪に磨かれた88年の人生を歩んできた人だからこそ書けるブログでのエッセーは読むものの胸に落ちます。

日本福祉大学助教授、名古屋家庭裁判所調停委員長を経て、1972年衆議院議員に。

著書に「さようなら さようなら さようなら」(あけび書房)、「まだ、生きている」(新日本出版社)など。

聞き手 秩父子育てネットワーク

葭田あき子
説田三佐子

月謝無しで英・数を

押すな押すなの評判

―秩父にお住まいになられたいきさつは。

私は子どもの時から町育ちで、大学は東京、就職も町の大学なのね。だからたまに用事で田舎に行った時には、夫と、「老後は田舎に住もうね。」と言っていたんですよ。私は外地から引き揚げてきているから、故郷がない。だから、どこに住んでも構わないわけ。とにかく田舎なら。十五年やった議員を辞めることになり、たまたま手に取った「毎日グラフ」に「田舎売ります」と出ていたんでね。荒川は土地が平らだったから気に入った。一九九〇年に秩父に来て、二十十年になります。

丁寧にとみるとみんな「5」

ここに来てやったことは子どもに英語を教えること。私たちには子どもがいなから、子どもたちを教えることで地域

のこともわかるし、ここに骨を埋めようと思っっているから、なにか村の為にできることをすれば、精神的な居住権を得られると思っ。それで、昔やったことを二人でやろうかって。生活は年金で食べていけるから、月謝は一切なしと。私がこっちで英語を教えて、夫が別の部屋で数学を教えて。それが押すな押すなの評判で断るのに困るほど。その子どもたちがみんないなくなった。一人だけ残っているけれど、みんな秩父を出て行ったね……。

英語は中学生はゼロからスタートなので、丁寧に見てやると、みんな「5」をもらってくる。それは自信につながるのね。特に勉強ができなくて、「2」とか「1」もあるような子が、目を輝かすんだね。みんなに「おまえすごいな」なんて言われるわけ。それまで、そういう経験がないわけ。みんないい成績をとると私のところに来てしがみついている。家

に帰る前に、嬉しくてテストを見せに来る。「先生！」って。私は、「先生と言うな、おばちゃんと言いなさい。」と。夕飯の時に晩酌して、お酒飲んで教えているのだから、先生じゃない、おばちゃんなんだって。お陰で今でも、当時の親や近所の人までが、私のことを「おばちゃん」と言う。

議員をやめると同時に一切の肩書きから去ってね。それが私の哲学だった。「荒川村の老婆です。肩書きはなにもありません」と。

―田中さんは八十八歳の今も自転車に乗り、姿勢がピシッとしていらっしやいます。現在の健康法は。

それはもう睡眠以外にないね。睡眠と歩くことね。物を言うことも大事ね。意識しないけれど、しゃべるといことは必ず文法に従ってしゃべっているわけだからね、脳がそれで動いているわけでしょう。だから（猫の）来太郎とよく話をするの。テレビに向かって「このやろう」とかね。だいたいテレビには悪口を言うの。「小沢！早く刑務所行け！」「この男逃がすな！」とかね。来太郎と家族ごっこしているの。

気持ちが出せない 人間関係のうすさ

―ところで、今の社会って感受性の鋭さゆえに社会からはじかれていく人がじわじわと増えていくように思います。

今の社会ってね、自分の未来にウキウキするものがないんじゃないの、若い人も誰も。友達とおしゃべりをして楽しんだり、今度はどこに行こうとか、編み物でもしてセーターを作って誰かにプレゼントをしようとか、そういう小さなことでもいい、人間の幸せは小さな楽しみの積み重ねだと思うんだね。そういう中で自分がこういう行動をしてきたかを見て、自分はこういう人間なんではないかとわかるんだろうね。ところが、そういう気持ちが出せなくなっているのでは。人間関係が薄くなってるね。だから、挨拶まではいんだ。あらお久しぶり、お元気、なんていう所まではにこっとしていんだけれど、その先の話がないというか、若い人は、そういう感じがするね。今日こんなものを見て面白かったとか、そういうのを人に聞いてもらいたいかね、今悩んでいるとか、今読んでいる本

に対してこう感じたけれどというような話がないような気がするね。今六十代の人もそうじゃないかな、私の目から見ると。

社会保障は 闘わないととれない

―社会保障は闘いながら勝ち取るものだってブログに書いてあったんですが。

それはね、マルクスが言っているのよ。資本というものは法的に利潤に向かって一直線にいくわけですね。これは法則だから、いけないとかいいとかいう問題じゃない。その中で、人間の健康だとか幸せだとか、子どもを産むだとか、そういうことは全くお構いなしね。利潤に向かって一直線に行くからね。だから、それに何らかの規制を加えないと、人間は絶えてしまうわけですよ。社会が潰れてしまうわけですよ。

だから、マルクスが言うように一定の規制をしてね、病気になった時には医療費が安くなるとか、結婚したら住宅手当をくれるとか、いろんな福祉ができた。ところが、資本は、なにしろ利潤に向かって一直線だから。だから、こっちから取

らなければ、絶対に取れないわけね。そこで、一人では取りにくいから労働組合なり、政党なり、色んな会や何かを作って自分達の要求をどうやって取るか考える。だから闘い取らなければならぬという言葉が出来てくるのはね、資本というのはそういう仕組みを持っているからなのね。



いつまでもアメリカの

子分はダメ

―民主党政権になったけれど沖縄の基地問題が一向に解決されず、沖縄の人たちが苦しんでいます。今日日本が学ぶべき国ってありますか。

四、五年前にベネズエラにもキューバにも行ってきたけれど、世界は中南米から変わると、私は思うね。

日本は安保条約でアメリカの子分になっているけれど、中南米の人たちは、かつてはアメリカの裏庭と言われていた。我々は子分だからまだ外にいるけれど、家の中に取り込まれているほどひどい状態で、アメリカの自由気ままににされてきた。

その中からキューバが、「不良少年」が一人飛び出たわけでしょう。そうしたら、アメリカは寄ってたかっていじめで、そのためにいくら社会主義をやろうとしてももう食い物がなない。サトウキビとコーヒーしか農民は作れないように植民地政策でされていたわけだから、小麦

の作り方もわからないし、極端に言えば、パンの焼き方もわからないわけね。みんなアメリカから輸入して、砂糖とコーヒーを渡して生きていたわけでしょう。社会主義になって封じ込められてますます貧乏になった。

それでもよく頑張ったよね。社会主義に向かうという旗を降ろさずに五十年もね。アメリカがキューバを取り巻いて、他所のものを寄せ付けなくて孤立させて、日干しにさせようとしていた。だけれど、だんだん世界から批判されるしくまういかなくなって、つい先日よ、完全封鎖を解いたのね。

そして、ベネズエラがまた裏庭から飛び出したわけね。ベネズエラは石油の埋蔵量が世界で一番大きいのに、力がないから掘りきれいでないんです。それをアメリカがほとんど取って行った。それをチャベス大統領がこの石油は自分達のものだと押さえたんですね。

このチャベス大統領は過去に何回もアメリカから暗殺されかかっている。暗殺したら世界からアメリカが批判されるっていう時代になってきている。キューバが随分苦勞したけれども、キューバが先にやっていてくれたからベネズエラにはアメリカはいじわるができなかった。で、ベネズエラはすぐキューバと手をつないで、キューバは砂糖を買ってもらって、代わりに石油が来るってね。

私が行った時はそれが始まった時だね、アメリカが邪魔してベネズエラから石油が来ないと電気が消える。ベネズエラから石油が来るとまたつく。単純なんだね、国家って。

見習うべきは中南米諸国

いまや、ベネズエラとキューバがちり手を結んじゃったでしょう。そして、昨日か一昨日、中南米は三十数カ国あるのだけれど、その首脳会談で、地域機構という、ヨーロッパのEUみたいなものを、中南米で採決して来年から施行すると決定をしたのね。

EUではフランスとドイツが戦争をするっていう事はありませんでしょう。日

本の岩手県と鹿児島県が戦争するってことはいいわけでしょう。それよりちよつと独立性は強いけど、EUの議会も出来ているわけじゃない。EUの旗もできているでしょう。あそこで戦争はない。

中南米でも、チリやブラジルやアルゼンチンが日本の県みたいな位置づけになって、地域機構が大きな勢力として、

中南米を一つにして潰れないようにお互いに助け合っていく。そして、アメリカとの間で安保条約のようなものはみんななくしちゃってさ。日本はいつまでアメリカの子分であるか。最後になっちゃうね。だから中南米から世界が変わると思ったのよね。

悪いことをしなければ

儲からない日本に

—日本では逆に若い人たちが食べられないとか、貧困問題が深刻です。

日本の場合は、資本主義はもう行き詰まっちゃっているんじゃないか。もうこれ以上利潤を追えなくなっちゃっている。利潤を得るためには反社会的な事をしなければ儲けられなくなっている。

もともと儲けることは悪いことじゃない。でも、正当な資本主義では儲けられなくなっている。だからだいたい今金持ちほとんど犯罪者ですよ。なんかの法に触れている。必ず政治家とつながって

いる。今のトヨタだってそうでしょ。かなり前からわかつているのにさ、人命尊重が少し疎かになっていましたって、これから人命尊重しますって今頃言ってる。私なんか頭にきちゃう。車を売る会社だよ、人命を尊重してなかったというのは、資本主義としてもはずれている。

ルールなき資本主義だ。悪いことしなければ儲からない。トヨタがいい例だよ。今までの儲けで労働者一人当たり年収五百万円払っても二百年くらい払えるだけの金を持っているそうさ。今度のミ

スでトヨタはどうなるんでしょうね。

—すごい内部留保ですよ。

そう。大変だね、日本はこれから。一部の階層だけが生活を派手にしていく。これからは「手綱」を引き締めていかないとね。それで、なるだけ貧乏人を出さない。貧乏人が増えれば増えるほど社会は不安定になりますからね。

その代わり、大企業や個人でも富裕層にはうんと税金をかけて、税金を使ってお金をぐっと上げていくという、これを勇断をもってやらない限り、日本は本当に、悪い事をしなければ金が入らなくなる。もっと犯罪が増える。小さな犯罪だけでなく、あつちこち起こって、今度は罪の意識がなくなるの。なにしろ自分に得になるように、得になるように。だから、人に優しくなんてしなくなるわよ。

このままでは ダメな社会に

—貧困ビジネスがまさにそうですね。貧困ビジネス自体が人間として許されない行為で儲ける。でもそこで働かざるを得ない人たちもいる。悪いと自覚しながら

ら生きるためにそうする社会はゆがんでいきます。

そうそう、その会社ぐるみが悪い事してる。告発したら自分が首になるからね。だから、命令されれば自分も悪いとわかりながらそうしなければ生きられない。そうしたらいつかは社会がだめになっていくわね。

今までの人類の歴史を見ても、とことんまで行つてばたばた餓死するような社会にならないようにここまできたら、必ず誰かが改革をやるしかない。だけど、大企業からお金をもらつていたらどうし

たつて出来ないのよ。私だって金をもらつていたら出来ない。やはり子分じゃダメなんだよね。

鳩山さんみたいに、お母さんから九億とか十二億とかもらつてその贈与税を払おうつていう常識さえない人が総理大臣をやつて、どうして国が治められるつていうのよ。そんなこと私たち庶民の方がよっぽど知っているよ。夫婦で共稼ぎをして、奥さんが扶養でいられる為に年収いくら以上は働かないつて、庶民の方がよほど税金の事を考えながら生きているでしょ。

ね。仕事を楽しくしようと思う時にその仕事で泥棒の手先だったりすると、楽しくないじゃないですか。楽しくできるような仕事をしようとする、なかなかない。そういう中から、どうしてそうなのかと、人間は楽しむ為に生まれてきているのに、どうして仕事を楽しく出来ないのか、そういう時にしみじみ考えると気がつくんじゃない。やっぱり世の中変えていかなければダメだって。今多くの人が気づいているんじゃないかって思うよ。

先生ほど面白い仕事はない

—今の若い人に言いたいことをお願いします。

私なんか自分の人生を振り返つてチャンスをつかんだつていう気はしない。初めは学校の先生なんかたりたくなかったと思つていたけれど、他に女は仕事がないかった。

なつてみると、十代くらいの子が可愛

くて仕方がなくて、学校の先生ほど面白い仕事はないと思つたね。仕事は面白くなつたということは、50%は運もあるかもしれないけれど、あとの50%は、私が仕事を自分にとって面白いものにしていったというところがあるのではないかと思う。

自分の仕事を面白く出来る社会がいい